

「みんなでつくろう幸せな学校」

自ら進んで学ぶ子 自分を高める子 互いを認め合える子

進んで健康な体をつくる子 すべての子どもが幸せを実感できる地域にする



令和7年7月28日 第10号

SUMMER CONCERT



7月14日、吹奏楽部によるサマーコンサートが行われました。部員40名で4月から練習を重ねてきた成果を発表します。第一部は、大野っ子向けに昼休みに。給食を終えた大野っ子たちが続々と体育館へ。その数、200名以上！吹奏楽部の面々も笑顔で出迎え、大野らしいあたたかい雰囲気の中、コンサートが始まりました。オープニングは、基礎練習に使う曲「鐘の音」。今年度は、基礎練習を大切にしていたので、音がしっかりと出ているもののやわらかい音色で表現していました。2曲目は、ベートーベンの「よろこびの歌」。オーケストラの定番曲ですが、管楽器で演奏すると親しみのある曲想に。最後は、「アンダー・ザ・シー」。トランペット、トロンボーンはもちろんのこと、パーカッション、ギター、ベースに先生方が参加し、部員たちと一緒に演奏したので、深みのある一曲になりました。パートごとのパフォーマンスもあり、客席もノリノリでとても楽しいサマーコンサートでした。吹奏楽部の皆さん、素敵な演奏をありがとうございました。秋の演奏会に向けて、新たな挑戦が始まるとのことでした。



牛乳も残さずに！



給食の残菜の中で一番多いのが牛乳、なんと1割を超える状況です。そこで、1年生と2年生を対象に、明治さんによる「みるく教室」を行いました。乳牛と同じ大きさの牛のタペストリーと牛模様のエプロンを身につけた(株)明治の方、牛乳を作り出す牛を身近に感じた子どもたちでした。私たちが毎日飲んでいる牛乳は、乳牛が妊娠・出産を経て作り出している乳であり、本来、子牛に飲ませる乳を我々人間が牛乳としていただいているとのこと。つまり、肉や魚・野菜などと一緒に、「命」をいただいて健康な体をつくっているとのこと。併せて、子牛が人工乳で育てられていることや酪農家さんの苦労なども、映像とともにわかりやすく説明してくださいました。「酪農家さんが減ると、私たちは牛乳が飲めなくなるかもしれない。」と明治さん。「どうしたらいいの?」と2年生。「牛乳をたくさん飲むことだね。」と明治さん。その日の給食では、2年生の牛乳の残量が半減したとのこと。牛乳が健康な体づくりに欠かせないことはだれでも知っているのでしょうか。給食の汁物、持参した水分と合わせて200mlの牛乳を飲むことは大変だと思いますが、少しずつ飲む量を増やしていくことができるよう食育を続けていきたいと思います。



併せて、7月8日に行われた給食試食会でも、参加された方々に今年度の食育の取り組みについて簡単に紹介しました。給食参観、試食を終え、様々な食材や料理に触れることができありがたい、みんなと一緒に食べることができるので苦手なものにもチャレンジしてもらいたい、低学年には牛乳の量が多いかも、人気メニューのレシピを掲載してほしいなどの感想が寄せられました。ありがとうございました。10月にも試食会を計画しています。ご興味のある方はぜひ！引き続き、学年に応じた食育を続けていきたいと考えています。



おいしい米をつくるためには

7月8日、
みどりのみず
がき隊の皆様
が管理してく

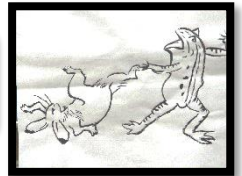


ださっている北方のミニ自然園にある田んぼで、5年生が草取りをしました。今年は雨が少ないので、地下水を使って水田にしているとのこと。地下水の水温が低いので稲の生育もよくないが、雑草も少ないとのこと。また、当日は猛暑だったこともあり、四方から全員で田んぼに入り、草取りの作業を進め



ていくとのこと。水温が低かったので田んぼの中はひんやりと気持ちよかったです。また、雑草も少なかったので、30分を目安に作業を終えることができました。「次は、稲刈りだよ。」とみずがき隊の皆様。おいしい米は簡単にはできないと実感した子どもたちでした。

令和の雪舟たち…



7月8日、水墨画家の山岸千穂先生をお迎えして、6年生が水墨画体験をしました。社会科では、ちょうど室町時代の学習を。室町文化の一つである水墨画、せっかくなので雪舟になった気分で水墨画にチャレンジ！

手本に示すような「カエルとウサギ」を描きました。さすが6年生、すばらしい集中力と筆遣いで、作品を仕上げていました。休み時間も返上で作品に向き合う人も！書の新たな世界に出会った6年生でした。

また、3年生から6年生は、今年も絵手紙づくりにもチャレンジしました。手本を参考に、筆ペンで輪郭をとり、絵の具で色を付けていきます。はがきという限られた空間に描くので、とても細かい作業になるのですが、じっくりと作品に向き合う姿が見られました。大変だったのは、表面です。宛先や差出人を書いたことがないので、どこに何を書くのか・・・、確認しながら進めていきました。お子さんたちからの暑中見舞いが届いたご家庭も、多かったのではないのでしょうか。



パラリンピア、オリンピックたちに学ぶ

パラリンピアは、パリパラリンピックゴールボール金メダリストの安達阿記子選手。4年生の福祉教育に来てくださいました。ブラインドウォークを経験し、視覚に障害がある世界を実感。その後、ボールの投げ方（転がし方）、ボールの取り方を練習しました。いざ、アイマスクをつけてゴールポストに！ちょっと動くと方向感覚がなくなり、自分がどこにいて、どちらを向いていて、どこからボールが来るのやら・・・、「パニックです。」と体験した教頭先生が。アイマスクをする分、聴覚や触覚を研ぎ澄ましてボールをキャッチすることをイメージするのでしょう。



オリンピックは、リオ・東京・パリと3大会出場、男子水球 大川慶悟選手。6年生のキャリア教育に来てくださいました。現在、秀明大学女子水球部の監督もされており、大学生であり日本代表選手でもある学生さんを数名連れてきてくださり、6年生は水球も体験しました。シュートの練習をした後、ゲーム形式に。3人以上にボールをパスしないとシュートはできないというル



ールを作ってプレイボール！水の中なので動くのが大変でしたが、その分、パスが何本も出ていたので面白いゲームになりました。最後は、大川選手のシュートを見せてもらいました。本気を出すと時速90km級のスピードだとか。